2014年5月号「vol.47」 ◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

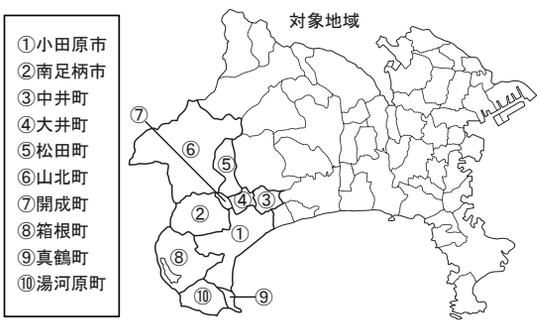
県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

テーマは「未病いやしの里づくり」神奈川県西地域の活性化策決定

21世紀は、地球がますます一体化するグローバル化が進む一方、地域をどう活性化していくかが重要になっています。神奈川県では森林、温泉、果物など地域資源が豊かな県西地域（小田原市、南足柄市、中井、大井、松田、山北、開成、箱根、真鶴、湯河原の10町）を対象に今年3月、「未病いやしの里づくり」をテーマとする活性化策をまとめました。県では「神奈川健康プラン21」の重点目標として昨年「健康寿命日本一」を打ち出し、今年は「未病をなくすかながわ」宣言を行いました。未病をなくすとは「特定の疾患の予防・治療にとどまらず、心身の状態を整え改善することで生活習慣病や要介護状態を防ぐ『未病を治す』ことが肝心」との考え方から出てきたものです。

今回の活性化案は「地域おこし」と「未病をなくす」対策をマッチさせたもので全国的にも珍しい試み。同案は地域住民などからの意見、提案を基にする新たな手法でまとめられ、昨年11月には事業推進の核となる県西地域活性化推進協議会（会長・黒岩祐治知事、各市町、県、商工・農林・観光団体、金融機関、学識者などで構成）も設立されました。この取り組みは「未病を治す神奈川モデル」にしていくことにしており、同時に2020年の東京五輪の開催をにらみ「全国、世界に向けたアピールを行っていく」ことを掲げています。各市町のネットワークづくりや中核施設となる「未病いやしの里センター」（仮称、道の駅のようなイメージの施設）の設置などが計画されていますが、当面、来年度に県が箱根で未病普及啓発イベントを開催することにしています。



【県西地域】面積は県域の約4分の1と広い。約70%が森林。人口は35万人余と少なく全県の約4%。65歳以上の割合は25.2%（小田原）～箱根などの足柄下郡33.5%（全県21.7%）と高齢化が進んでいる。箱根など温泉の源泉は県内の約8割が所在。みかん、茶、魚など特産品も豊か。観光客は年間約3200万人に上る。

【未病いやしの里】情報発信や未病チェック、相談機能を持つセンターを設置。体験施設として「里の宿・レストラン」、「食の駅」（物産直売所等）、「運動の駅」（パークゴルフ等）、「湯の駅」（立ち寄り温泉等）、「森の駅」（公園施設等）を設ける。

コレが言いたい！

4月の人事異動により県庁に「最先端医療・最新技術の推進」と「未病を治す」取組みを進める「ヘルスケア・ニューフロンティア推進局」が設置され、県西地域活性化プロジェクトを進めるために政策局に県西地域活性化担当部長が配置されました。「未病いやしの里づくり」にはこれら色々な部局の連携が必要となりますので縦割行政ではなく部局横断的な取り組みを進めていくべきです。

今月のひと言

毎年5月は「自転車月間」です。自転車が関係する交通事故が多発しています。自転車利用者一人ひとりが安全意識を高め、正しい自転車の交通ルールとマナーの実践に努めましょう。

磯子 あれ？これ？

三殿台遺跡

三殿台遺跡は縄文・弥生・古墳時代のムラの様子と生活の内容を知ることができる重要な国の指定史跡です。

三殿台に初めて人が訪れたのは約4500年前の縄文時代中期で、この時代は温暖化により遺跡の近くまで海が入り込み漁猟や採取を中心に生活を送っていました。弥生時代には、稲作や金属器など新しい生活様式を持った人達がやってきて竪穴住居を作り、古墳時代には鉢と蓋を組み合わせて「こしき」と呼ばれるもので米などを蒸して食するようになりました。

三殿台遺跡は明治32年に「屏風ヶ浦岡村貝塚」の名前で学会誌に紹介されました。昭和36年夏に市立岡村小学校の校地拡張計画に伴い遺跡全体の発掘が行われました。当時夏休みの短期間で調査する為、研究者に混ざり中・高・大学生・市民ら延べ5000人が参加、また調査隊の食事等の世話係りとして区内の婦人団体等も協力しました。調査の結果、縄文・弥生・古墳時代に渡る270余の竪穴住居跡が確認されました。

昭和41年には市民や関係団体からの要望を受け国の指定史跡となり、現在では小学生が課外授業で遺跡を訪れたり、土器や勾玉作り・火おこしなどの体験教室も行われています。

皆さんも古代にタイムスリップしてみては。

活動報告

3月31日(月)自由民主党神奈川県支部連合会大会が開催され、来年4月の統一地方選挙の第一次公認が決定しました。

支部連合会大会では副議長に指名されました。

来年春に実施される統一地方選挙の第一次公認104名がステージに勢揃いしました。

松本純衆議院議員のご配慮により衆議院第一議員会館の会議室で関係省庁と「子ども子育て支援新制度」「子宮頸がん予防ワクチンの現状」に関する勉強会を行いました。

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成23年4月　県議会議員初当選
- ●厚生常任委員/社会問題対策特別委員
- ●自民党神奈川県議団副団長

✉ あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451